

咲かせましょう みんなの笑顔 2023

【6月3日 立子山ふれ合いデー同時開催事業】

～生誕150年・朝河貴一博士のふるさとをきれいな花で彩りました～



主催：立子山小学校 共催：たつこ学童クラブ・NPO 法人地域のみんなのチカラ・立子山地区青少年健全育成推進会

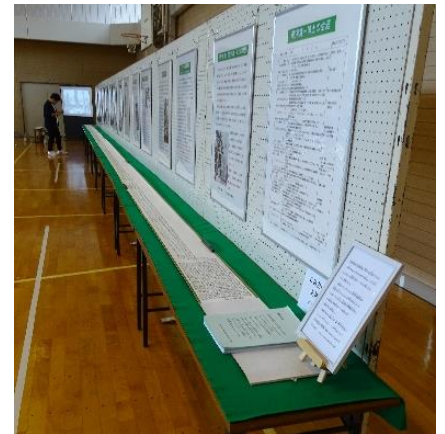


プランターに植えられた色とりどりの花々は、立子山小学校をはじめ、たつこ学童や立子山支所、立子山自然の家、立子山駐在所、職業訓練校(旧立子山中)、立子山郵便局等の玄関先を彩り、朝河博士のふるさとであることの誇りや立子山への郷土愛と共に、ご来場者をお迎えしました。 (紹介：たつこ学童 高橋友美さん)

生誕150年記念 平和祈念コンサート



令和5年10月21日 旧立子山中学校体育館
 主催:立子山地区ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会
 後援:NPO 法人地域のみんなのチカラ、朝河貫一博士顕彰協会



貫一博士が生涯に渡り訴え続けた国際協調、そして世界平和への願いを私たちがしっかりと受け継ぎ、平和祈念コンサートというかたちで発信しながら、次の世代、そして未来へ博士の想いを伝えていくため開催しました。演奏していただいた「ブラスターアカデミーフクシマ」の皆さんの素晴らしい演奏にご来場の皆様も感動され、平和への思いを新たにしました。
 (紹介:NPO事務局 斎藤信行さん)

2023年「子どもたちを育む活動」を振り返って



立子山の「太鼓」と「朝河博士顕彰」は、この数年でいくつかの転機を迎え、進められてきました。

太鼓 2011年に東日本大震災・原発事故の影響で、盆踊り大会が休止。非常に残念な思いをする中、翌年の再開時より、大人に混じり、地区の小中学生も太鼓に参加させてもらえることとなりました。三浦文二さん、三浦良弘さん、高橋利勝さん、菅野浩一さんらのご配慮とご指導を受け、子どもたちはのびのびと楽しみながら、太鼓の技術を磨きました。

盆踊りのおかげで太鼓をたたく子どもたちが増えたこともあり、地区・八幡神社の例祭をより賑やかにするため、阿曾善介さん、斎藤紘一さん、小林春雄さんら氏子さんのご理解をいただき、2015年に秋の太鼓として「立子山奉納太鼓」を新たに創作。例祭はもとより、地区の敬老会、立子山自然の家イベント、中心市街地でのふくしま山車祭り、市児童公園セレモニーや福島駅前広場の市青少健イベント等からもお声がけをいただき、ご披露してまいりました。

さらには2019絆祭り福島で新生「わらじ祭り太鼓」が創られた折りにも、立子山からも15名ほどの小中学生、大人が参加。同年以降のわらじ祭り本祭りや、東北絆まつりでは2022秋田、2023青森などにも参加し、技術と活躍の幅を広げています。

朝河博士顕彰 早稲田大学の甚野尚志教授がアメリカ・イエール大で「報恩之辞」を見いだして下さったことが地区にとって大きな転機となり、2018年の秋、「博士の没後70年記念講演会」を天正寺で開催。その翌年、朝倉鉄哉さん、斎藤信行さんらが中心となって、「NPO地域のみんなのチカラ」を設立。

立子山における様々な顕彰活動が進められる中、2022年に「報恩之辞」のレプリカが忠実に再現されました。



「朝河太鼓」動画
しおりをご覧の皆様へ
限定公開中です

以上の転機と節目を経た「太鼓」と「朝河博士顕彰」が博士生誕150年の今年、少人数でも力を合わせて頑張っている、立子山の子どもたちの手によりコラボレーション。1月からの創作、練習期間を経て、6月の「ふれ合いデー」で地域の皆さんに初披露した以降、県立図書館講堂という大きな舞台や、4年ぶりに地区で復活した豊年盆踊り大会、敬老会など、貴重な発表の機会を本当にたくさんいただきました。無限の可能性を持つ子どもたちにとって、1つひとつの機会が大きな成長につながりました。

この間、地域の大勢の皆様からたくさんの応援と励ましを賜りましたこと、並びに小学校の先生方や保護者のご理解のもと惜しみないご協力をいただきましたことに、心より感謝と御礼を申し上げ、朝河貫一博士生誕150年を記念し進めた、子どもたちを育む活動の振り返りとさせていただきます。ありがとうございました。

発行 立子山地区青少年健全育成推進会・NPO 法人地域のみんなのチカラ・立子山奉納太鼓伝承会
協力 立子山太鼓保存会・立子山地区ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会・立子山支所・立子山小学校
(編集・報告：地区青少健・NPO・奉納太鼓伝承会・太鼓保存会 寺島正嗣)